

ニーズ調査の結果について

1 調査の目的

平成 27 年 3 月に策定した「第 1 期宇都宮市子ども・子育て支援事業計画」が令和元年度に終了することに伴い、令和 2 年度からの「第 2 期宇都宮市子ども・子育て支援事業計画」策定の基礎資料とするため、子育てをしている家庭の状況や希望するサービス、子どもを取り巻く環境に対する意見・要望等を把握することを目的とする。

2 調査対象者

調査対象者	調査対象者数	調査数
就学前児童の子どもがいる保護者	27,431 人	4,450 人（無作為抽出）

3 実施概要

- 調査地域：宇都宮市全域
- 調査形式：アンケート調査
- 調査方法：郵送配布・郵送回収
- 調査期間：平成 30 年 12 月 25 日～平成 31 年 2 月 1 日

4 回収結果

調査対象者	配布数	回収数	回収率
就学前児童の子どもがいる保護者	4,450 件	2,038 件	45.8%

5 ニーズ調査からの分析

- ・パートタイムを中心に就労している世帯が増加していることや、幼児教育無償化に伴い、今後すぐに就労を希望する世帯が増加しており、引き続き、こうしたニーズの増加が見込まれることから、受け皿となる供給体制の確保が必要。

今後すぐに就労を希望する世帯の割合

22.2%（H29.5調査） ➡ 24.5%（今回調査）

- ・幼稚園の利用や利用希望が減少する中、幼児教育無償化を踏まえた幼稚園の預かり保育や認定こども園の利用希望が増加傾向にあり、このニーズへの対応が必要。

定期的な教育・保育事業の希望状況

【幼稚園】57.2% (H29.5調査) ➡ 55.3% (今回調査)

【幼稚園の預かり保育】19.4% (H29.5調査) ➡ 28.9% (今回調査)

【認定こども園】38.2% (H29.5調査) ➡ 41.9% (今回調査)

- ・交通結節点である中心市街地等を中心に、送迎サービスの利用希望が一定程度見込まれるが、利用にあたっては、保護者が不安を感じる点なども存在する。
- ・LRTの開業やマンション等の建設に伴う局所的な保育ニーズの増加が見込まれることから、送迎サービスを含めた、新たなニーズに対応する施策の検討が必要。

送迎サービスに係る利用希望状況

【利用したい】38.2% 【利用したいと思わない】57.7%

利用したいと思わない主な理由 ※複数回答

【送迎場所と保育場所が異なることが不安】47.4%

【交通事故のリスクなどが不安】28.6%

【利用に一定の利用者負担があるため】23.8%

- ・働き方改革の推進や社会環境の変化に伴い保護者ニーズが変化・多様化する中で増加する、休日保育、一時預かり保育などの**特別保育のニーズ**への対応。

休日保育を希望する世帯の割合

12.8% (H29.5調査) ➡ 14.7% (今回調査)

一時預かりを希望する世帯の割合

41.3% (H29.5調査) ➡ 42.8% (今回調査)

- ・子育てサロンについては、現行体制によりニーズへの対応が十分できており、今後もニーズがほぼ横ばいで推移することが見込まれることから、現行の供給体制を引き続き確保していくことが必要。

子育てサロンを現在利用している世帯の割合

33.4% (H29.5調査) ➡ 35.9% (今回調査)

子育てサロンを新たに利用したい・利用日数を増やしたい世帯の割合

56.6% (H29.5調査) ➡ 44.0% (今回調査)

子育てサロン等の利用実績 (平成30年度)

延べ利用人数 (月平均) 12,367人

利用可能枠 (月) 105,917人分

- ・病児保育については、子どもが病気やケガをした場合に以前に比べて、仕事を休んで看やすくなっている状況にあり、現行体制によりニーズへの対応が十分にできており、今後もニーズがほぼ横ばいで推移することが見込まれることから、現行の供給体制を引き続き確保していくことが必要。

病気やケガの時に父又は母が休んだ割合 ※複数回答

81.3% (H29.5調査) ➡ 86.1% (今回調査)

できれば病児保育を利用したい世帯の割合

27.8% (H29.5調査) ➡ 28.3% (今回調査)

病児保育の利用実績 (平成30年度)

延べ利用人数 (年間) 3,013人

利用可能枠 (年間) 5,145人分